

## よくある質問 Q & A

ご家庭から寄せられるご質問の中から代表的なご質問とそれらに対する本学院からの回答を掲げます。

Q1：教育相談って何？

Q2：ふくろう博士の授業料は日本一高い？

Q3：6つのランク、どう違うの？

Q4：他社とどう違うの？

### Q1：「教育相談 って何？」

本学院では、ご入会の有無にかかわらず、ご両親様お子様および教育相談員/教育アドバイザー三者による教育相談（有料です。税込 10,800 円）を実施しております。この教育相談では、

まず、本学院のシステムについてご説明いたします。（システム説明は無料です。）

次に、ご家庭のご要望・お子様の学業の実態をお伺いしお子様の性格を含めた現状を把握させていただきます。（学力向上要因診断検査の実施）さらに、指導目標および指導科目・時数・回数をご家庭のご予算とも併せてご相談のうえ決めてまいります。

本学院のシステムにご納得いただき、ご入会いただけるのであればその時点でご入会の手続きをとらせていただきます。

家庭教師をおつけになってのお勉強は、当然マンツーマンでのご指導になります。指導の効果をあげるためには、家庭教師とお子様の相性は大切なファクターとなります。教育相談員が直接お子様にお会いしてお話しさせていただくのは、お子様に最適な家庭教師を選定するためにも不可欠と考えております。

なお、ご入会后、ご希望の場合には無料にての体験授業もお受けいたしております。

## Q2：「ふくろう博士の授業料は日本一高い？」

答はYES。

本学院の授業料は、同業他社に比べ確かに高額に設定されております。その理由としては以下の二点が挙げられます。

まず第一に、

優秀な先生を確保するにはそれなりのお手当てが必要であるということ。本学院に登録している家庭教師の先生は全てプロの家庭教師です。この道10年 20年以上といったベテラン家庭教師の先生のお手当てが大学生のアルバイト程度であって良いわけがありません。高いお手当てをいただくのですから、本学院のプロ家庭教師には多くの責務が課せられます。

- 1： ご家庭のご要望を100パーセント充足することを目指すこと。具体的には、生徒を第一志望校に合格させるよう最大限努力すること。
- 2： 本学院主催の定例研修会に参加し自己研鑽に励むこと。
- 3： 担当教育相談員と連絡を密にし、指導する生徒の近況を報告し必要であれば教育相談員の指導を受けること。
- 4： 定められた授業時間内だけではなく、指導をより効果的なものするため、FAXやメールを使っての指導あるいはアドバイスなどを自ら率先しておこない、生徒に常に先生の目を意識させるような心がけること。（生徒が家庭教師の先生に見守られていると感じることで安心感を得、勉強に打ち込めるようにするため。更には、不明点を次回の指導日まで引きずらないようにするため。）
- 5： 毎回の授業内容をモニターレポートに記録しご家庭および学院に報告すること。

以上が本学院のプロ家庭教師に課せられた基本的な責務です。

責任が大きければ大きいほど、手間がかかればかかるほど家庭教師の得るお手当ては高額になって当然と本学院では考えております。

第二に、

2009年5月に創立50周年を迎えた本学院は家庭教師派遣業の草分け的存在であり、現在数百社とも数千社ともいわれる家庭教師派遣業者の多くは、わたくしども日本家庭教師センター学院初代院長ふくろう博

士 古川のぼる考案の家庭教師派遣システムをモデルに営業しているのが実態のようです。本学院の授業料体系も業界内では広く知られており、同業他社は本学院の授業料よりやや低めに授業料を設定して差別化を図っているようです。結果的に、本学院の授業料は日本一高額ということになります。それでもなお本学院が授業料を下げずに営業できるのは、長年にわたる実績と信用の賜物と自負しております。

世界的不況のなか日本もその例外ではありえず、個々の家計においても経費削減は緊急の課題ではあります。しかしながらここで発想の転換をし、お子様にかかる教育費を経費というより投資とお考えになってはいかがでしょうか。お子様の将来に対する目減りのしない投資です。その投資も“安かろう悪かろう”ではせつかくの投資が無駄になってしまいます。やはり、良いもの値打ちのあるものは値がはるものと思います。

### Q3: 「6つのランク、どう違うの？」

本学院に登録しております家庭教師の先生は6つのランクにわかれております。分類の基準は、希望されたご家庭にお送りいたします資料の内、青色の資料「プロ家庭教師指導コース授業料表」に“プロ家庭教師ランクの分類基準”として記載されておりますのでご覧いただきたいと思ひます。上位のランクになれば家庭教師の先生が受け取るお手当ても上がります。より上位のランクになるためには、本学院で毎年3月に行われる昇格試験に合格しなければなりません。この昇格試験は教育相談員の推薦がなければ受けられませんが、教育相談員は家庭教師の指導実績ご家庭からの評価などを勘案し推薦します。昇格試験の内容は、

#### **\* 指導技術を試験するための実技試験 \***

- : 当該年度に実際行われた入試問題を所定の時間内に解答する。
- : 有名私立校を1つ選択し、過去の出題傾向を分析のうえ予想題と模範解答を所定の期間内に作成する。

**\* 家庭教師としての心構えを質すための信条試験 \***

: テーマに従い小論文を作成する。

**\* 人物を評価するための面接試験 \***

: 学院長ならびに教育相談員による面接を受ける。

以上が昇格試験の内容ですが、合格すればランクが 1 つ上がりお手当でも上がります。厳しい試験ですので不合格者もでます。不合格になった家庭教師を推薦した教育相談員の面目はつぶれてしまいます。従いまして教育相談員も軽々には推薦できないのが現状です。こういった事情からも、高ランクの先生がいかに優秀であり本学院の信頼を勝ち得ているかをご理解頂けると思います。逆にランクの低い先生であっても、登録して日が浅く本学院での実績があまりないため昇格試験を受けておらず、昇格していないだけで指導の実力を十分にお持ちの優秀な先生がいらっしゃるのも事実です。

**Q4: 「他社とどう違うの？」**

学院創立以来 50 年以上、質の高い優秀な家庭教師をお世話し多くのご家庭のご要望にお応えして実績をあげ、その信頼を勝ち得てまいりました。その一つの証左として、お兄さんの指導終了後妹さんの指導を引き続き依頼されることや、20 年 30 年前にご父兄様自身が本学院の家庭教師の指導をお受けになっており、今度はお子さんに家庭教師をおつけになりたいとのご依頼をいただくなど、リピート率の高いことが挙げられます。50 年を越える実績と信頼を築きあげてきた本学院の特徴を以下に掲げます。

**1: 50 年を越える実績と信頼に裏打ちされた派遣システム**

教育相談員/教育アドバイザーが直接ご父兄様とご本人にお会いして生徒の現状を把握し（学力向上要因診断検査の実施による性格・心理検査）、ご家庭のご要望ご予算を伺ったうえで最適の家庭教師を選定し派遣いたします。家庭教師とのお勉強は当然一対一なので、相性が合わないということも指導開始後起こりえます。そのような場合は無料で遅滞なく先生の交代をさせていただきます。また、途中解約の場合一切費用はかかりません。（一か月前のご連絡をお願いしております。）

## 2 : 家庭教師のランク制

家庭教師の指導実績、昇格試験などにより本学院の家庭教師は 6 段階のランクに分かれております。ご家庭のご要望・ご予算に応じたランクを選べます。

## 3 : 充実した定例研修会の実施 (2010 年 6 月 第 500 回)

家庭教師の指導力アップ、情報収集・交換、自己研鑽の場として家庭教師を一堂に集め「プロ家庭教師定例研修会」を開催しております。1968 年 11 月にスタートして以来約 50 年続いている研修会です。研修会では、教育界はもとより各界著名人による講演をはじめ、ベテランプロ家庭教師の指導体験や指導テクニック・ノウハウを伝授する研修がおこなわれます。また、各私立中学高校で開かれた学校説明会の報告や、個別ゼミにおいては家庭教師の指導方針・指導方法について確認およびチェックがおこなわれます。研修会をおこなうことで家庭教師としての心構えと責任感、指導力の向上に努めています。

## 4 : 家庭教師を孤立させないバックアップ態勢の確立

家庭教師による指導は、ともすればその家庭教師の力だけに依存しがちになります。本学院に所属する全ての先生がなんでもひとりでこなせるというわけではありません。ひとりの力には自ずと限界があります。最近では医療現場においてセカンドオピニオンの重要性が医療事故を防ぐ手立てのひとつとして注目されております。これは教育の現場においてもあてはまるのではないのでしょうか。本学院には実際の指導上の問題点を多角的に検討し、より良い方策を模索し実行するためのシステム、家庭教師を孤立させないシステムが整っております。具体的には、研修会での情報交換および具体的な指導上の問題点解決のためのゼミ。教育相談員/教育アドバイザーによる家庭教師への指導・アドバイス。家庭教師からご家庭への指導内容のご報告。ご家庭から学院へご要望頂いたことに対する家庭教師へのフィードバック。これらを口頭あるいは文書でおこなっております。

## 5 : 本学院ホームページ上に「e-講座」開設中

2004 年以来、英語・数学・国語の各エキスパートによる問題解決のプロセスを公開しています。問題の具体的な解き方はもちろん勉強のやり方、日々の学習計画の立て方、試験に臨む心構えなど、本学院プロ家庭教師の指導力の一端を窺い知ることができます。